実践例　県立那須特別支援学校

教科・科目等　総合的な探究の時間（高等部１・２学年　３名）

本時の目標
　世界の国々の言葉や文化にふれることができる。

育てたい資質・能力等
　世界にはいろいろな人がいることに気付くことができる。（知性）

教材　・タブレット端末　・各国の紹介資料（写真、国旗、挨拶、食べ物など）
　・各国の人のお面　・世界の言葉の音声や動画　・給食の写真
　・ワークシート「世界の友達」「旅の記録」・人権の窓（子どもの権利）

展開
●教師がお面を付けて国ごとのキャラクターに扮し、写真や動画を見せながら紹介をする。
●世界の友達紹介　ジョンさん（アメリカ）　ミナさん（韓国）　マリアさん（メキシコ）
●ワークシート「世界の友達」に顔写真を貼り付け、名前と国名を記入する。
●各国の挨拶の仕方を模倣する。発声が難しい生徒は、音声ボタンを使用したり教師と一緒に身振りで表現したりする。
●世界の給食文化について知る。
●好きな色や食べ物などについて考え、各国の文化に対してお互いの違う所や同じ所を知り、共通点や多様性、個々の違いの良さについて理解を深める。

←学習の様子

授業者の感想
・各国の挨拶では様々な言葉があることを知り、難しい発音に挑戦したり、発語が難しい生徒は教師の挨拶に合わせてお辞儀したりする様子が見られた。
・教室で給食を食べているため、国によって食事場所や食事形態、メニューが異なることがとても新鮮な様子であった。